



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月5日

上場会社名 株式会社 ハウス オブ ローゼ
コード番号 7506 URL <http://www.houseofrose.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神野 晴年

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 池田 達彦

TEL 03-5114-5800

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,553	1.8	470	29.1	449	26.4	269	19.6
29年3月期第3四半期	10,361	2.7	364	3.3	355	7.9	225	12.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	57.34	
29年3月期第3四半期	47.94	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
30年3月期第3四半期	8,954		5,447		60.8	1,158.35
29年3月期	8,538		5,369		62.9	1,141.84

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 5,447百万円 29年3月期 5,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		20.00	40.00
30年3月期		20.00			
30年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.7	430	6.8	430	8.6	215	1.4	45.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	4,703,063 株	29年3月期	4,703,063 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	592 株	29年3月期	539 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	4,702,513 株	29年3月期3Q	4,702,579 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の国内景気は、企業収益及び雇用環境の改善が続き、不確実性がありながらも緩やかな回復基調を維持しました。小売業界につきましては、台風など天候不順の影響を受けながらも、インバウンド需要や株高を背景とした高額消費が牽引する形で都市部百貨店などでは増勢が見られました。しかしながら、人手不足による人件費や物流関係費用等の増加により収益環境は二極化が進んでおります。

(直営店商品販売事業)

ハウス オブ ローゼ直営店販売事業につきましては、主軸であるスキンケアラインの販売を推進しつつ「1店舗当たりの収益力強化」に努めており、スキンケア化粧品の売上高は前年同期より増加しました。また課題である新客数の増加については、SNSの活用を始めとした諸施策の効果もあり、第3四半期単体(平成29年10月1日～平成29年12月31日)では新客数、新客売上高共に前年同期より増加しました。一方今期に入り2店舗を新規出店したのに対し、不採算店舗及び出店先の閉鎖等により3店舗を退店し前年同期より2店舗減少となったこともあり、売上高は前年同期比1.0%の微減となりました。

ネット通販事業は、自社ネット通販を中心に効果的な広告宣伝の強化に注力することで会員数が順調に増加、また独自の販売促進策も奏功し、売上高は前年同期比で26.9%の増加となりました。

他の直営店商品販売事業を加えた当事業売上高は、81億10百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は、退店に係る費用計上もあり1億70百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

(直営店サービス事業)

リラクゼーションサロン事業は事業改善に取り組んでおり、不採算店舗の退店やメニューの見直しを進める中で、既存店舗の客数が持ち直してまいりました。しかし店舗数が前年同期より3店舗減少したこと等が影響し、売上高は前年同期比6.4%の減少となりました。一方カーブス事業は、7月に新店がほぼ計画通り順調に推移しており、既存店売上が若干苦戦する中、物販を強化するなどにより、売上高は前年同期比2.2%の増加となりました。

以上、当事業売上高は11億84百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益につきましては、リラクゼーションサロン事業は、事業改善の成果により前年同期より増加しましたが、その一方、カーブス事業の新規出店及びスタッフ数の適正化に伴う経費の増加等も影響し、事業全体では66百万円(同32.8%減)となりました。

(卸売販売事業)

個人オーナー向け卸売部門は、10月に新店が寄与しましたが、部門全体として店舗数及び客数が減少したため、売上高は前年同期比3.0%の減少となりました。また、量販店向け卸売部門は、ボディケア化粧品を中心とした新MD「リラックスタイム」が出店先の都合等により展開ペースが計画より鈍化したこともあり、売上高は前年同期比1.8%の減少となりました。一方、その他一般向け卸売につきましては、試行中の中国向け越境EC事業者への卸売販売が引き続き順調に推移し、売上高は前年同期の約2.3倍増となりました。

以上の結果、当事業売上高は12億57百万円(前年同期比27.0%増)、営業利益は2億34百万円(同190.1%増)と大きく増加しました。

以上、当第3四半期累計期間における全社売上高は105億53百万円(前年同期比1.8%増)となりました。一方、費用面では卸売部門の売上高増加に伴い売上原価率が増加しましたが、総経費が前年同期より減少したため、営業利益は4億70百万円(前年同期比29.1%増)となり、第3四半期純利益は、2億69百万円(前年同期比19.6%増)で増収増益を確保しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より4億15百万円増加し、89億54百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より4億88百万円増加し、54億4百万円となりました。これは主に売掛金が3億87百万円、商品及び製品が2億10百万円増加し、現金及び預金が41百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末より72百万円減少し、35億49百万円となりました。これは主に差入保証金が22百万円増加し、投資その他の資産(その他)が90百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末より3億38百万円増加し、35億7百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が60百万円、電子記録債務が2億39百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末より77百万円増加し、54億47百万円となりました。これは主に利益剰余金が81百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、前回発表(平成29年11月2日決算短信)に記載の業績予想に変更はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,281,469	2,239,902
売掛金	983,448	1,370,743
商品及び製品	1,515,663	1,726,435
その他	135,612	67,883
流動資産合計	4,916,194	5,404,963
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	376,016	365,647
土地	1,408,982	1,369,668
リース資産(純額)	30,486	40,984
有形固定資産合計	1,815,485	1,776,301
無形固定資産	15,224	50,121
投資その他の資産		
差入保証金	645,176	667,184
その他	1,147,519	1,057,117
貸倒引当金	△709	△867
投資その他の資産合計	1,791,986	1,723,434
固定資産合計	3,622,695	3,549,857
資産合計	8,538,890	8,954,821
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	318,145	378,544
電子記録債務	821,809	1,061,019
短期借入金	-	150,000
未払法人税等	146,049	44,522
賞与引当金	199,627	50,000
その他	508,749	551,517
流動負債合計	1,994,382	2,235,604
固定負債		
退職給付引当金	1,054,267	1,117,035
役員退職慰労引当金	59,884	66,864
その他	60,821	88,209
固定負債合計	1,174,973	1,272,108
負債合計	3,169,355	3,507,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,682	934,682
資本剰余金	1,282,222	1,282,222
利益剰余金	4,070,849	4,152,411
自己株式	△566	△655
株主資本合計	6,287,186	6,368,659
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53,282	49,382
土地再評価差額金	△970,933	△970,933
評価・換算差額等合計	△917,651	△921,551
純資産合計	5,369,535	5,447,108
負債純資産合計	8,538,890	8,954,821

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,361,692	10,553,139
売上原価	2,902,794	3,006,518
売上総利益	7,458,897	7,546,621
販売費及び一般管理費	7,094,160	7,075,895
営業利益	364,736	470,726
営業外収益		
受取利息	2,181	1,216
受取配当金	2,224	2,545
不動産賃貸料	583	777
その他	2,985	3,505
営業外収益合計	7,975	8,045
営業外費用		
支払利息	1,146	1,048
リース解約損	15,422	26,562
不動産賃貸原価	714	368
その他	-	1,638
営業外費用合計	17,282	29,618
経常利益	355,428	449,153
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,792
特別利益合計	-	2,792
税引前四半期純利益	355,428	451,945
法人税、住民税及び事業税	106,345	126,932
法人税等調整額	23,631	55,349
法人税等合計	129,977	182,282
四半期純利益	225,451	269,663

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。